

3師団だより

平成21年9月

発行
第3師団司令部広報室

師団長要望事項：「所命必遂」

今月の内容

- ☆ 第3次師団訓練検閲
- ☆ 第3次師団訓練検閲褒賞隊員紹介
- ☆ 平成21年度巡回演奏
- ☆ 平成21年度東南海・南海対処演習
- ☆ 部隊長随想
- ☆ 最先任上級曹長あれこれ
- ☆ 各地の防災訓練
- ☆ 各部隊からの投稿文
- ☆ 地本だより
- ☆ 天晴れ隊員
- ☆ 一隅を照らす
- ☆ ウンチク駐屯地
- ☆ 新婚さんスィートライフ
- ☆ 3Dレディー

背景：第3次師団訓練検閲
(無線で敵情を報告する分隊長)

第3次師団訓練検閲 ～第36普通科連隊～

師団は、9月14日～9月21日までの間、第36普通科連隊（連隊長・佐藤1佐）に対し「師団から先遣された増強普通科連隊の陣地攻撃」を課目とし、「有機的な指揮幕僚活動」、「部隊の基本的行動」及び「隊員の基礎動作」を主要検閲項目として第3次師団訓練検閲を実施した。

伊丹駐屯地において、出動準備を整えた精強第36普通科連隊隊員達は、あいば野演習場に集結した。集結後、時間のある限り敵の可能行動に対応すべく準備訓練を積み重ね、徒步行進へ移行した。無声指揮を遵守し、整斉と終了した。

引き続き、敵陣地に対する攻撃を果敢に行い、目標奪取に邁進した。連隊長を核心に一丸となり、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、与えられた任務を完遂した。



敵戦車に射撃する瞬間



連隊長に状況報告する中隊長



敵部隊との銃撃戦

第3次師団訓練検閲褒賞隊員紹介

師団長褒賞受賞

部 隊	階級	氏 名	職 名	備 考
3中隊	2尉	古賀 禎征	運用訓練幹部	3 6 普連
統裁部	1尉	中井 伸輔	審判部 砲迫審判班長	3 特隊

師団最先任上級曹長褒賞 受閲部隊

連隊本部	3曹	市原 孝紀	第2科 情報陸曹	3 6 普連
本管中隊	2曹	民秋 悟	中隊本部 運用訓練陸曹	3 6 普連
1中隊	3曹	立岡 果意	迫撃砲小隊 前進観測陸曹	3 6 普連
2中隊	2曹	浅尾 和弘	中隊本部 運用訓練准尉	3 6 普連
4中隊	2曹	印南 博昭	迫撃砲小隊 前進観測陸曹	3 6 普連
5中隊	曹長	小島 伸二	第3小隊長	3 6 普連
重迫中隊	2曹	芝 吉平	射撃指揮班 射撃陸曹	3 6 普連

師団最先任上級曹長褒賞 統裁部等

区 分	階級	氏 名	職 名	部 隊
編組部隊	1曹	塩崎 眞也	施設小隊長	3 施大
統裁部	2曹	高見 誠也	企画統制部 状況把握陸曹	3 7 連隊
対抗部隊	3曹	朝倉 光市	対戦車分隊 照射手	3 7 連隊

平成21年度巡回演奏 「テーマ：海を越える握手」

師団は、9月12日、滋賀県高島市民会館において、平成21年度巡回演奏を実施した。

演奏会は、10月9日から18日の間、同市あいば野演習場で実施される日米共同訓練の事前広報を目的に実施され、第3音楽隊、第7普通科連隊の隊員で構成されている太鼓隊及びエイサーチームがそれぞれ参加した。

当日は、雨にもかかわらず約850名の観客が訪れ、大いに盛り上がりとともに、多くの市民から「感動した」、「また聞かせてください」等の意見を頂き、広報の目的は十分達成された。

また、地域交流の一環として、高島市内の中学校（マキノ中学、今津中学、安曇川中学、高島中学）ブラスバンド部を訪問指導し、地元新聞に大きく掲載された。尚、マキノ中学校は滋賀県の大会において「金賞」を受賞した。



第1部は迷彩服で演奏しました



マキノ中学マーチングを直接指導する女性自衛官



元気いっぱいの第7普通科連隊エイサーチーム



第7普通科連隊酒吞太鼓の勇壮な演奏

平成21年度巡回演奏 「空の日フェスタ2009」

9月26日、和歌山県南紀白浜空港において平成21年度巡回演奏を実施した。

今回の催しは、南紀白浜空港「空の日」記念事業実行委員会が主催し、「空の日フェスタ2009」と題し、各関係機関等から主要な航空機が参加し、多種多様なイベントを行った。

師団は、9月28日から10月1日の間に実施される、東南海・南海地震対処演習の事前広報として、第3音楽隊、第37普通科連隊、第3後方支援連隊により、音楽演奏や装備品展示、高機動車の体験試乗を行った。

当日は晴天に恵まれ、約5,000人の地域住民が訪れた。特に自衛隊の催しは好評で、家族やカップルが装備品の前で記念撮影をしたり、体験試乗では長蛇の行列ができた。市民からは、「また来年もしてください」「自衛隊かっこいい！」等、声が聞かれた。



体験試乗を終えて満足そうなちびっ子



人命救助システムに興味津々の来場者

平成21年度 中部方面東南海・南海地震対処演習



CH-47へ人命救助システムを積載



孤立化地域へ救助のため揚陸する
ホバークラフト（LCAC）



救難サインの状況を報告する
第3飛行隊のパイロット

師団は、9月28日から10月1日までの間、各駐屯地で実施された指揮所演習のほか、和歌山県内16個の施設等を使用して、平成21年度中部方面東南海・南海地震対処演習に参加した。

今回は、昨年実施した演習及び阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、被災地に対するスピーディな部隊投入を検証するため、呼集から迅速な出動、早期に孤立化地域を特定するための情報活動、複数の孤立化地域への迅速な進出、初めてとなる和歌山大学考案の「救難サイン」活用、及び、和歌山県とのヘリコプター運用調整会議を行った。

今後は、本演習の検証結果を基に実効性を高め、関係機関との協同連携をさらに強化していく。

背景：南紀白浜空港に集結する第1ヘリコプター団第106飛行隊（木更津）のCH-47

部隊長随想 ～北近畿の要 福知山～

第7普通科連隊長：1等陸佐 端 博幸

丹波を平定した明智光秀が福知山城を築城、旧陸軍歩兵第20聯隊が駐屯、鉄道・道路が集約していることなどが示すとおり、福知山は近畿地方の南部と北部を接続する要である。

視点を変えると、各種レジャーなどに行くにも便利な土地である。冬は神鍋高原等でのスキー、夏は日本海での海水浴や海釣りが楽しめ、また、古都京都や西日本の大都市大阪方面へ行くのも便利である。

福知山は、公私ともに充実した日々をおくるのに最高の土地である！



福知山城



古都京都



神鍋高原スキー場



天橋立

最先任上級曹長あれこれ 師団最先任上級曹長 准陸尉 松浦 正弘

第3師団最先任上級曹長の松浦准尉です。昭和34年生まれ、和歌山県出身です。原隊は第三十七普通科連隊で持続走を中心に後輩を育てるとともに、自ら各種大会に参加して持続走訓練隊で苦楽を共にし、部隊の名声を築いてまいりました。余暇には、地元少年野球チームの監督として「親のあり方と子供の躰」を大切に、地域との交流を深めて健全な青少年の育成に貢献しています。

上級曹長制度について、試行2年目の今、師団長以下関係上司のご指導を基に、千僧駐屯地最先任上級曹長を兼ねて師団最先任上級曹長としての任務を遂行するため、日々努力精進していますが、強固な陸曹団の中で制度を良き方向へ浸透させる為、陸曹のあり方について私的な観点から述べたいと思います。

まず第1に、「仕事が有ることに感謝しよう」ということです。

日本は終戦以来、苦しい経験を経て民主主義（主権在民）の国家と成り復興を成し遂げてまいりました。これも一重に、先祖代々の苦労の上に出来た平和な世の中であればこそと感謝しなければなりません。給料をもらえて当たり前、食べることも当たり前、のように思う今の世代は、果して有事の際に、任務を遂行できるのかと疑問に思います。非常に恵まれた自由な環境で仕事ができるということは、それだけ更なる発展に向けて自助努力しなければならない使命があり、自衛隊の発展に貢献しなければならないと痛感しています。

第2に、「時間を惜しむ」ことです。

一日は万人共通に24時間ありますが、その与えられた24時間を如何に将来の目標達成のために創意工夫・努力して使うかをしっかり考える必要があると考えます。人生は一日の積み重ねであり、「一日一生」と言われる様に、その日「何を成し得たか」が重要であります。 ※次ページへ



世の中には色々な職業がありますが、仕事の質というものは実はどの業種でも同じであり、自衛官としての仕事の違いはあるけれども、仕事に関する考え方は同じで、意外と簡単なことが多いものです。仕事が嫌で辞めたとしても、現実逃避では道は開かない！ 陸士諸官に言いたいことがあります。もし任期満了で第二の人生を歩む志があるならば、「惜しまれる人と成れ」、「現在の与えられた仕事を徹底的に努力せよ」と言いたい。営内生活は不自由に思うかもしれないが、衣食住が保証されたチャンスと捉えるべきと考えます。自学研鑽し、将来の理想実現に向けて時間を有効に使い徹底的に努力してもらいたい。そして、五感を満たすモノにのめり込む時間を惜しんでいただきたいと思います。

第3に、「陸曹のあるべき姿」とは何かであります。

陸曹は、その道のプロフェッショナルであり、良き伝統を継承し、歴史を刻む生き証人ともいえる存在です。しかし、昨今の自衛隊を見る限り、近年希に見ない事故が増大しています。特に、陸曹の事故が毎年増え続けているのが現状です。何故、確信犯的な事故が増えるのか？自分の心の中は、人生向上に向かう思いが中心か、仕事に関する思い、家族が幸せに暮らす為の思いがあるか、それとも遊びや五感を楽しませるような思いが中心か、胸に手を当てて考えてみてください。その比率が大きい方へとベクトルが向いていくものです。例を上げると、飲酒運転やスピード違反も容認する誤った思いから習慣的に実行しているといつか検挙されるものです。善悪の判断がつかず、自覚が持てない、指導する立場にある者が見て見ぬ振りをする等の風潮（心のベクトル）が蔓延しているのかもしれませんが。何時までも言い訳をしても良くなることはありません。正しい考え方、指導方法を身につけて善導し、職場を良き風潮へと変革していかななくてはなりません。各部隊の前任上級曹長も一人の人間としては未熟な存在であるので側近の陸曹が良く支援し、家族のような職場作り、魅力ある職場へと目指して努力して下さい。中隊長等も未熟な一人の人間です。陸曹が上司の愚痴を平然と漏らす様な風潮が大問題なのです。文句を言う前にどれだけの努力をして、部隊を盛り上げているか自問自答して下さい。国民の血税によって成り立っている職場なんです。爽やかな風が吹く職場作りと徹底的な努力こそ「陸曹のあるべき姿」ではないかと思います。

最後に、司令部勤務、連隊、大隊本部等の本部勤務陸曹は最先任上級曹長を核心として、協力し、良き陸曹を育てる事を目標に尽力していただきたい。

小さな問題でも情報共有し、陸曹団の強固な団結を目指し、全員で上級曹長制度を盛り上げていきましょう。 おわり

京都府総合防災訓練 ～第7普通科連隊～



迅速にドアを切断し人命救助する隊員



スムーズな負傷者の引き継ぎ

第7普通科連隊（連隊長・端1佐）は、平成21年9月5日、「平成21年度京都府総合防災訓練」に参加した。

重迫撃砲中隊長（江口1尉）以下24名が参加し、府としては京都府中部地域に存在する殿田断層地震の発生に備えた訓練であり、府民の防災意識の高揚と防災関係業務に従事する職員の実践的な活動の習熟を目的として行われ、亀岡市、南丹市、京丹波町では震度6強を観測して、広範囲で家屋が倒壊、負傷者や不明者多数、火災発生との想定により実施した。

メイン会場となる京都府立丹波自然運動公園では、第3師団長が視察する中、自衛隊、警察、消防、市職員や多くのボランティアが協力して倒壊家屋やビルからの人命救助を実施した。

特に、土砂に埋まった自動車からの救助では、重迫撃砲中隊長の適切な指揮の下、班員は人命救助セットを駆使し、迅速に自動車のドアを切断し傷病者を救助した。今後、更に防災訓練を積み重ね信頼される自衛隊を目指していく。

和歌山県防災総合訓練 ～第37普通科連隊～



救急隊員と連携して負傷者を搬送する隊員



人命救助システムを説明する隊員

9月6日、平成21年度和歌山県防災総合訓練が、和歌山県御坊市野口「日高川ふれあい水辺公園せせらぎ広場」で実施された。

この訓練には陸上自衛隊第37普通科連隊（連隊長・大庭1佐）を始め、第3後方支援連隊、第3飛行隊、第304水際障害中隊、海上自衛隊由良基地分遣隊及び自衛隊和歌山地方協力本部、警察、消防等の防災機関、並びに地域住民等計90団体が参加した。

第37普通科連隊は、第3中隊長・奥屋3佐以下50名、車両16両が訓練隊として参加した。

訓練等内容は、「被害状況調査訓練」、「連絡員派遣訓練」、「現地対処検討訓練」、「救出救助部隊派遣訓練」、「倒壊建物からの救出救助応急処置訓練」、「DMATによる広域搬送訓練」、「炊き出し訓練」等多種多様であった。

なお、この訓練の様子は地元のテレビ局、新聞社等が多数取材し、ニュース番組等で報道された。

姫路市総合防災訓練 ～第3特科隊～

第3特科隊（隊長・藤木1佐）は、平成21年9月2日に姫路港で行われた平成21年度姫路市総合防災訓練に参加した。

訓練には被害状況調査、倒壊家屋からの救出、炊事支援及び緊急物資輸送の訓練に第4中隊（中隊長・徳村3佐）を中心とする32名の隊員が参加した。台風9号の水害で兵庫県佐用町に派遣された後の訓練でもあり、緊張感のある訓練となった。



倒壊家屋から負傷者を救出する隊員



被害状況を偵察する情報中隊の隊員

姫路駐屯地ちびっ子大会 ～第3特科隊～

姫路駐屯地（駐屯地司令・藤木 1 佐）は、平成 2 1 年 9 月 1 2 日及び 1 3 日の 2 日間、姫路駐屯地の各施設を使用し地元の小学生を対象に、ちびっ子大会を実施した。

今回のちびっ子大会は、駐屯地周辺の増位小学校父親教室の 5 6 名を招き、レンジャー体験、太鼓演奏見学、A E D などの衛生教育及び小型トラックの試乗などを行った。参加した家族からは、「近くて遠い存在だった自衛隊を身近に感じました」、「隊員の方が親切に接して頂き嬉しかった」、「食事が美味しかった」、「また機会があれば体験したい」等、隊員にとっては、大変嬉しい意見が数多く聞かれた。



史跡「和歌山城」保護対策協力事業 ～第37普通科連隊～



危険を伴う石垣の除草



天守閣に登り瓦の損傷をチェック

第37普通科連隊（連隊長・大庭1佐）は、9月3日及び4日、和歌山県和歌山市が実施する「史跡和歌山城保護対策協力事業」を支援した、第2中隊長・洞口1尉以下224名が地元ボランティア団体らと共に清掃活動を実施した。和歌山城清掃は本事業で18回目を迎え、広報活動の一環として地域の方々と共に清掃を行っている。

作業は、危険を伴う石垣の除草、天守閣では瓦等の損傷などのチェック、鳩の糞等の除去を実施した。また、今年は初めての試みとして、西の丸広場において高機動車の体験試乗、軽装甲機動車の展示等を行った。

和歌山城を訪れた観光客や道行く市民らも、危険を顧みず手際よく作業する隊員の姿を見て、「暑い中ご苦労様です。」「毎年お城清掃ありがとうございます。」と隊員に激励の言葉をかける等、感謝の意を表していた。なお、この協力事業の様子がニュース番組等で全国及び関西一円に報道された。

平成21年度中部方面対空実射合同訓練（近SAM）～第3高射特科大隊～



近SAM発射の瞬間



要撃成功！記念撮影

第3高射特科大隊（大隊長・梅木2佐）は、9月11日から13日の間、北海道静内対空射撃場において、平成21年度中部方面対空実射合同訓練評価を実施した。

中隊長・村田1尉の的確な指揮・統率の下、多忙な訓練日程の中、対空実射合同訓練へ向けて、実戦的な手信号による射撃準備を評価に取り入れ、それぞれの発射班が、創意と努力を重ね、搜索・追従練度の向上を図った。

結果は、「要撃成功・優秀合格」の成果を収めた。

投稿文「親子対決を夢見て」

第36普通科連隊重迫中隊 1等陸曹 西山 英一

私は、「50の手習い」ならぬ49歳から日本拳法を始めました。始めるきっかけは、息子（現11歳）が5歳の頃から習い始め、その送迎において4年間ほど見学をしていたのですが、周りの者から「見学だけでは時間がもったいないから一緒に練習をしよう」と誘われたのがきっかけでした。

初めの頃は普段あまり運動をしていないこともあり、体の節々の痛みや過呼吸になったりして体が慣れるまで苦労しました。試合となると、10代、20代の若者が相手となり、ほとんど太刀打ちできませんが、たまに大学生に勝ったりすると普段の疲れが吹っ飛び、ストレス解消になります。

息子は、父親の練習が気になるのか「膝が堅い。猫背になってる」などと技の批評をしてきます。これが、親子共通の話題ということで会話も弾みます。

息子が面を付けて練習できる中学生になる頃には私は定年を迎えていますが、息子と真剣勝負が出来る様にこれから先も体力維持に努め練習に励みたいと思います。



防具姿が凛々しい西山1曹

投稿文「台風9号災害派遣に参加して」

第3特科隊第3中隊 陸士長 大西 翔

私は入隊以来、一度も災害派遣に参加したことがなく、今回が初の災害派遣となりました。

災害派遣に参加し、地域社会に貢献することは入隊を希望した理由でもあったため、蒸し暑さや、動く事すら困難な泥の中での搜索も、自らの行動が地域住民の方々に貢献していると思い、懸命に搜索活動に取り組みました。

残念ながら私自身は行方不明の方を発見することはできませんでしたが、今回の派遣は私にとって大きな経験となりました。そして、まだ行方の分からない方の早期発見と、佐用町の一刻も早い復興を願っています。



泥濘化した地域を必死で搜索する大西士長：写真中央

地本だより ～和歌山地方協力本部～

自衛隊和歌山地方協力本部（本部長・荒井事務官）は8月27日、エフエム和歌山（和歌山市内のコミュニティFM）の番組サテライトスタジオでの「さてばなな」）に生出演した。

このFM局は、地本の自衛官募集CM等を放送しているラジオ局です。

この番組で、本部長は、県内に陸・海・空の3自衛隊があり、全国でも珍しいことや3自衛隊のカラーの違いを紹介したり、自衛官になるための応募方法や情報の入手手段についてPRした。

また、今年8月に着任した同地本広報班長の森田1尉も飛び入り出演し、海上自衛隊の潜水艦勤務の魅力などを紹介した。

同地本は、今回の出演を契機に陸上自衛官と航空自衛官の出演も今後調整していきたいとしている。



生出演中の地本部長（右）と広報班長（中央）

天晴れ隊員 ～第3 後方支援連隊～

第3 後方支援連隊（連隊長：和田 1 佐）は成田空港での新型インフルエンザ患者発生に伴い、5 月 6 日から 1 週間、関西国際空港における検疫支援に衛生隊の隊員を参加させた。
その功績により、4 名の隊員が厚生労働大臣から感謝状を授与された。



1 等陸曹 渡邊 康彦



2 等陸曹 増田 清仁



2 等陸曹 森田 信俊



3 等陸曹 岡本 武

一隅を照らす

第3 後方支援連隊第1 整備大隊火器車両整備中隊 3等陸曹 川口 輝

今回は、3後支連1整大火器車両整備中隊から、川口3曹を紹介します。地元、尼崎市出身の川口3曹は、平成15年に一般2士として入隊し、陸曹1年目の若手ながら、師団各部隊の車両整備を担う装輪車整備陸曹として、日々技術の練磨・向上に努めています。特に整備車両が多数入場する多忙な業務の中でも黙々と整備を完成させ、高可動率の維持に努めています。

仕事熱心な川口3曹の休日は、ツーリング、サイクリング、旅行とアクティブに動き回り、今までに訪れたことがないのは九州と中部地方の一部だそうです。

大変な行動派である川口3曹の今後の目標は、「人のため、みんなのため心を込めて業務に尽くし、安心して任せてもらえる整備員を目指し、更に自分の整備技術を練磨して、後輩を育成できる陸曹となる。」とのこと。

川口3曹の今後の活躍と、中隊の中核を担う陸曹への飛躍を期待したいです。



車両整備中の川口3曹

ウンチク駐屯地 ～今津駐屯地①～

今津駐屯地は、滋賀県高島市今津町所在し、あいば野演習場の東端に位置しております。

昭和27年に今津特別訓練隊として発足し、昭和29年、第3特車大隊に改編、昭和37年、現在の主軸部隊であります第3戦車大隊及び第10戦車大隊が改編、創設されました。

その後、幾多の改編により第3後方支援連隊第2整備大隊戦車直接支援隊、第10後方支援連隊第2整備大隊戦車直接支援中隊、中部方面移動監視隊、第351会計隊、第318基地通信中隊今津派遣隊、今津駐屯地業務隊が駐屯し、約600名の隊員が勤務しています。また、22年には情報部隊が創設される予定です。

今回は、駐屯地の紹介で終わりますが、次回は名所・史跡の紹介などをさせていただきます。
お楽しみに！



現在の正門



昭和29年当時の正門

新婚さんスウィートライフ

第3師団司令部総務課総括班 2等陸曹 齋藤 篤郎・由紀子さん

いつも師団だよりを御覧頂き、ありがとうございます。

記念すべき第1回目の新婚さんスウィートライフは、第3師団司令部総務課総括班で勤務する齋藤2曹ご夫婦を紹介します。

Q＝出逢いはいつ頃？きっかけは？

A＝出会いは19歳くらいの頃。きっかけは、妻の友人に女性自衛官がいて、その人からの紹介です。

Q＝初めてのデートの思い出を。

A＝当時彼女が住んでいた家の近くです。

Q＝プロポーズは？

夫＝プロポーズ...？

したようなしてないような...？

妻＝してもらってない！！

Q＝最後に家族計画は？

A＝近いうちに男女1人ずつ欲しいですね。



和服がとてもお似合いです。結婚式でのお二人

3 Dレディー ～第3通信大隊～

記念すべき第1回目の3 Dレディは…通信大隊の元気娘・山内亜美士長です。昨年9月、第3通信大隊第2中隊有線小隊に配置以来、雨にも負けず泥にも負けず、「即動必通」、有線構成する女性自衛官です！出身は、緑いっぱい自然が魅力の京都府福知山市、性格は「姉御肌」、血液型は、B型です☆

- | | |
|--------------------|--|
| Q＝ 入隊の動機は？ | A＝ 誰かの役に立てることで、体を動かして働ける仕事にやりがいを感じたから。 |
| Q＝ 趣味・特技は？ | A＝ 趣味は睡眠・食事、免許は普通自動車免許です。 |
| Q＝ 好きな訓練は？ | A＝ 発動発電機J P U－U 3の起動です。 |
| Q＝ 得意料理はありますか？ | A＝ オトコっぽい料理が得意です。 |
| Q＝ 理想の男性像を教えてください。 | A＝ 場を盛り上げて皆を引っ張っていけるような人です。 |
| Q＝ 好きな映画or本は？ | A＝ 映画は「カンフーパンダ」、本は「B型自分の説明書」。 |
| Q＝ 今一番欲しいものは？ | A＝ 訓練状況中のお風呂です。 |
| Q＝ 好きな言葉orモットーは？ | A＝ 臥薪嘗胆 |
| Q＝ 今後の目標は？ | A＝ 「私について来い！」と言えるような陸曹になること。 |
| ～ ～ ～ | 山内士長の女性自衛官としての、ますますの活躍を期待しています！！ ～ ～ ～ |

